

災害ボランティア活動報告(No.15)

年月日:8月3日(金)~8月4日(土)

活動場所:宮城県亙理郡山元町浅生原字作田山(斎藤様の農地)

活動内容:畑の再生(小石取りや異物除去)、雑草の除去、ビニールハウス内作業。

参加者:メンバー(木下史典、森本次郎、都築一憲、浅野健一、竹下萌、船木淳悟、森本れお)、一般参加、ネット参加の皆様。(合計42名)

活動報告:『親子で震災ボランティア体験』 in MIYAGI、ボランティアバス第4弾です。

今回は、前回伺った農家の斎藤さんの所へ行きました。ボランティアセンターを通さずに直接農家にボランティアに伺ったので、小学生も参加できました。

ボランティアセンターを通すと小学生は不可になってしまいます。

夏休みでもあり、そして、親子で震災ボランティアを謳っていますので、赤ちゃんや園児は活動になりませんので小学生から来て頂きました。

やはり、子供達に震災で何があったか伝えていくことが、起こりうるこれからの震災に対する備えになり、活動を終えたさい子供達の眼差しが違って見えたのも、なにか感じる処があったのでしょうか。子供達の健全育成に役立てばなお嬉しいです。

今回の参加費は、一般参加7,500円、会員6,500円、(会員の場合、会から1,000円の助成が出ています。皆さん会員になって頂ければ、参加するほどお得です。)

行程:8月3日(金)21:00:千葉県JR四街道駅出発~22:00JR錦糸町駅経由~宮城県山元町へ。8月4日(土)朝6時30分地元吉野家で朝食。(前回より多少リッチに牛納豆定食。)その後、被災場所を視察。9時に斎藤さんの農地へ。



※参加された皆さんの集合写真です。今回は大勢の小中学生が参加され、学校の先生や区役所・県庁の方、官僚の方々など多彩な方々が参加されています。二列目中央が斎藤さんご夫妻。



※被災場所の視察。



※農家の斎藤さんから作業の説明を受ける。



※ビニールハウス内での作業。



※雑草の除去。

被災農家の斎藤さんは、震災のさい自宅と農地を失っておられ、生活再建に一生懸命取り組んでおられます。大変な状況のなか私たちに暖かく迎え入れて下さりました。

そして、私たちへの心配りで貴重な売り物である農作物のパプリカ、採れたてのものを試食させて頂き、そして、お土産に沢山のパプリカとピーマンを頂きました。

ボランティアで来ているのに、有難いやら申し訳ない思いです。本当にジューシーで甘みがあり美味しかったです。

ボランティアに来て思うことは、ボランティアはしてあげているのではなく、させて頂いているとつくづく思います。前向きに生活再建に取り組んでいらっしゃる斎藤さんにお会いして、私達の方が逆に元気と活力を頂きました。東北人気質というか真面目で律儀な方であり、お土産もボランティアに来て頂いて申し訳ないとの思いから出ています。感謝、感謝です。

そして、今回、アメリカのボランティアの方々がおられ、マサチューセッツやオハイオ州デイトンなど各地から来られていました。教会関係者の方々だそうです。

日本人でも震災後一年半近くたち、ボランティアの方々が増えているのに頭が下がります。宗教のバックボーンが有るからでしょうか。ですが、ある会員の方が日本の坊主は見かけないとのこと。目立たないからなのか、数が少ないからなのか。仏教徒の方々にも活躍してもらいたい

ものです。



※パプリカを試食させて頂きました。ジュースで甘みがあり大変美味しかったです。



※アメリカから来た、ボランティアの方々。教会関係者だそうです。



※こんなに沢山のパプリカを頂きました。それ以外にもピーマンも頂き感謝です。



※現地の健康ランド『ゆっぼ』で汗を流し一路帰路、東京・千葉へ。

今回は、畑のガレキ除去（小石や異物の除去）だけではなく、ビニールハウスでの作業や、雑草の除去の作業がありました。3班に分かれて作業しました。

参加者の皆さんの日頃の行いが良いのか、天候は曇りで気温は28度と、前日までの猛暑が嘘のようでした。熱中症の心配がなくなり安心しました。

お昼は、セブンイレブンの幕の内弁当を食べ、午後早めに作業を切り上げ、現地の健康ランド『ゆっぼ』で汗を流し一路帰路へ。

予定通り21:00前には、錦糸町に着き。22:00前に四街道に到着。

参加された皆様、お疲れ様でした。そして、有難うございます。

『第5回：親子で震災ボランティア体験 in MIYAGI』が9月28日（金）～9月29日（土）で開催が決定しております。またのご参加、心よりお待ちしております。